



SM





Life!



きっと大丈夫

山田美樹

お腹の娘に骨の疾患があるだろうとわかったのは、妊娠27週のエコー検査のときでした。本来、真っ直ぐである大腿骨が曲がっていたのです。

40歳を過ぎての高齢妊娠。色々なリスクが伴うことは理解していましたが、やっとやっと授かった命を守りたくて、羊水検査もクワトロ検査も全て受けませんでした。

妊娠がわかったときも高齢ゆえに流産率30%と言われてましたが、骨の病気を調べると「致死性・・・」と付くものもあり、無事に生まれてこられる命なのか、とても不安になったものです。

出産3日前には産声をあげることなく終わるであろう命だと告げられ、その瞬間から妊娠中の記憶を自分の中で消してしまったことが、後々一番寂しいことになってしまいました。

帝王切開で生まれた娘は全身に7箇所の骨折を既にしていましたが、自力で産声もあげ、呼吸のサポートは必要としたものの、NICUの一員になりました。

最初の頃は娘が生きてくれているだけで幸せいっぱい、NICUへの面会も毎日嬉しくてたまりませんでした。

しかし、少し自分の気持ちに余裕が出てくると、自由に抱くことも、直接授乳することも、沐浴も、何もかもが出来ないことにものすごく寂しさを感じ、母親らしいことをしていないのに私は本当にこの子の母親なんだろうかという不安な気持ちからNICUに向かう足取りが重くなりました。

「今日、面会に行かなかったら、きっと二度と行けなくなる。そして私は母親失格になってしまう。」





萌々華 愛称はももちゃん

何としてでも行なくちゃいけない！」襲ってくる不安に打ち勝つため、何度となく呪文のように自分に言い聞かせていた時期もありました。

そして、8か月。

在宅酸素と経管栄養のチューブをお土産に持って、娘はやっと我が家にやってきました。

NICUを退院するときには「明日から私一人でこの子を看られるんだろうか。」

「私はこの子の母親に本当になれるんだろうか。」と、まだまだ不安な気持ちはありましたが、訪問看護師さんと一緒に考えたり、何より娘と毎日一緒に過ごすことで、一つずつ乗り越えていったような気がします。

今、娘は3歳。

生まれてからの骨折が30回以上あるためほとんど寝たきりの生活で、酸素も栄養のチューブともお別れは出来ていませんが、お喋りが盛んな明るい女の子に成長しています。

体が小さく、フラットのバギーに乗っているのですが、未だに「何か月ですか?」と聞かれますが、そんなときは娘に自分で「3歳」と言わせて、相手のビックリする顔を親子で楽しんでいます。

NICUから退院するお子様をお持ちのお父さん、お母さん。

不安な気持ちがあるのは当然です。でも、子どもはその子なりの成長を必ずしてくれます。たくさんの方の幸せを私たちに与えてくれます。だから私たちはきっと大丈夫です。



4年後

けんちゃんママ

息子は2007年6月に、在胎24週2日・体重503gで生まれました。早いもので、今月で満4歳の誕生日を迎えました。出産直後は、色々な不安に打ちひしがれそうになり、息子の今の状況は全く想像もついていませんでした。手記の話の頂いて、何を書こうかと考えましたが、経過を詳細に書くよりも、4年後の“今の姿”をお伝えすることで、少しでもNICUにお子さんがいらっしゃるご両親、医療従事者の方々の励みになるのではと思いました。

現在の息子は身長96cm、体重11kg、毎日元気に保育園に通い、他のお子さんとほとんど変わらない生活をしています。非常に食欲旺盛で、好きな肉・魚類であれば小食な成人女性より食べるのでは？と思われるほどです。スプーンやフォークで上手に食べ、お箸の練習もはじめました。最近はおしゃべりで、大人の会話も理解し話に入ってきたりします。「これなに？」「どうして？」の質問攻めで、親が答えに窮する時もあります。絵本が大好きで、ひらがなも大分読めるようになりました。最近のブームは“ももたろう”でお話を覚えてしまい、「むか～しむかし。あるところに……」とお話してくれます。保育園には修正1才半から通い始め、私も職場に復帰しました。最初の1年ほど



は頻繁に風邪をひいたりしていましたが、昨シーズンの冬は何と一度も風邪等の体調不良でお休みすることなく登園することができました。心配が減ってきたので、私も時短勤務をやめ、保育園のお迎えはファミリーサポートの方をお願いしています。帰りに公園で大好きなブランコや滑り台で遊んでもらってから帰宅するので、

いつもどろんこです。また、先日は私も出産後初の海外出張に行ってきましたが、機嫌良くパパと（泊まりがけで来てくれた）ばあばと一緒に過ごしたようです。

最後に、簡単に今までの疾患と経過について、ご参考までに記載したいと思います。

●脳室内出血(Grade I)ー修正1才のMRIで吸収されていることが確認（今のところ後遺症なし）

●未熟児網膜症ーNICUにてレーザー手術後経過観察、修正3才半で視力検査実施、特に問題なし（ちなみに、3才の視力検査は、チョウチョや魚等の影絵が次第に小さくなっていくテストで、見ていておもしろかったです）

●難聴疑いー本当に疑いでした。修正1才になる前に精密ABRで左右20dbまで聴力確認。現在は耳鼻科卒業しています。

●ソケイヘルニアー左右とも手術をし、経過観察

●股関節脱臼ー直接、未熟児で生まれた事とは関係がないのですが、なぜかうちの息子は脱臼していました。修正2才半頃に牽引・ギブス・装具の期間を経て、現在は経過観察中です。

●粗大運動の発達遅延ーそれでも遅れていたのが脱臼の治療で更に遅れました。現在リハビリ中ですが、かなりのスピードで追いついてきていることもあり、親・保育園・医師もそこまで心配はしていません。また、皆と一緒に歩いたり走ったりが厳しい状況だった為、保育園では保育士が1人追加（加配）されていますが、本人の全体的な発達を考えると、きめ細かい保育が受けられて、かえってプラスだったかな、とも思います。以上になります。治療中は大変でしたが、何とか乗り越えることが可能でした。こどもの生きる力、成長する力は偉大です。それを信じて頑張ってください！

